

青

少年の健やかな育成と地域の交流を深めようと始まった「芸術の森地区音楽祭」。町内会連合会と青少年健全育成推進会をはじめとした地域の協力によって、毎年盛大に開かれ、今年で九回目を迎えます。

会場となる札幌芸術の森アートホールは、札幌交響楽団の練習場所として使われており、音響や照明の設備がとても充実しています。

その機器を操作するのは、「常盤中学校おやじの会」のお父さんたち。毎年の経験の積み重ねで得た確かな技術とチームワークで、多彩なステージを盛り上げます。

出演する地域の小・中学校や、女性合唱団、老人クラブなど幅広い世代の皆さんは、アートホールでの音楽会を楽しみに練習しています。

実行委員の一人、古内昭さんは「音楽祭を始めた頃は、途中で帰る人もいましたが、今ではみんな最後まで聴いてくれます。音楽への親しみが

地域に根付いたように感じています。音楽にとっても地域にとっても大切なものは、ハーモニー（調和）です」と笑顔で語ってくれました。

昨年は約千人の聴衆が訪れ、地域を代表する文化行事に成長した音楽祭。今年はどうな演奏を聴かせてくれるか楽しみです。

芸術の秋。地域手作りの音楽祭を訪れてみませんか？

第9回 芸術の森地区音楽祭

日時 平成16年(2004年)11月28日(日)
午後1時30分～4時(開場午後1時)
会場 札幌芸術の森アートホール
(南区芸術の森2丁目75番地)
詳細 常盤中学校 (☎591-1433)

昨年のアルバムから



◀音楽祭の横断幕は地域の書道家の作品です

「おやじの会」も大活躍！▶



舞
区
簾
地

このような音楽とのふれあいも・・・

音楽創造体験プログラムと演奏会のひととき

6月18日

豊

滝小学校の児童と地域住民が、札幌交響楽団と音楽の交流会を行いました。

これは簾舞地区社会福祉協議会による「福祉のまちづくり交流事業」と、同楽団の「音楽創造体験プログラム」によるもので、音楽を通じて児童の感受性を豊かにすることと、地域が交流することを目的としたものです。

前半は、児童と楽団員が、手拍子を使ったりリズム遊びやカスタネットやハンドベルを使って音楽を作るゲームなどを楽しみました。後半は、楽団員によるミニコンサート。クラシックのハーモニーを、大人も子どもも間近で聴き入っていました。

◀いろいろな音色があるんだね

